



# 檜小だより

檜原学園檜原小学校



3月号

令和3年度

2月28日(月)

ホームページアドレス <http://rlco.jp/hinoharasyougakkou/>

## みんなで作る檜原学園

校長 乙津 秀敏

街を歩くと庭先や公園で春の花が咲いているのを見かけるようになりました。朝晩はまだまだ寒さが厳しいですが、季節は確実に進んでいます。いよいよ1年間の締めくくりとなる3月に入ります。4月からの進級進学に向けてまとめの学習に取り組んで参ります。さて、このところ毎年この時期になると思い出すのが2011年3月11日に発生した東日本大震災です。今年は震災後11年目を迎えますが、私はついこの間の出来事のように感じます。当時私は副校長で、地震発生の際には職員室で仕事をしていました。尋常ではない揺れに驚くと共に、学校は授業中で多くの児童が在籍していたため、まずは皆を落ち着かせること、そして安全に避難させることを考えてすぐ側にあるマイクを使って全校放送をかけたのを覚えています。その後はこれもまた経験したことのない計画停電への対応をしたこと、そして何よりも原発事故の影響で避難してきた多くの児童の受け入れへの対応をしたことが思い出されます。教員としてそれまで経験したことのないこのような事態を受け、防災教育の大切さをひしひしと感じました。

3年前になりますが、私は小中一貫教育全国サミットへ参加するため岩手県の大槌町へ出掛けました。大槌町は東日本大震災の津波の影響で死者行方不明者1,285名という未曾有の被害を受けた町です。この町の子供たちの多くが住むところ、学ぶところを失い、避難所あるいは仮設住宅での生活を送りながら、仮設校舎で学習していたとのことでした。そして震災後5年で地域の複数の小中学校が一つとなり大槌学園として新校舎が建設され今に至っています。私が訪れたのはこの新校舎が完成した約2年後のことでした。津波の被害を避けるために高台に建った真新しい校舎に子供たちの明るく元気な声が響いていました。参観した授業の中には、防災について考える授業がありました。将来の町を背負って立つ子供たちがお互いの意見を出し合い、話し合う様子が印象的でした。この大槌学園が目指す小中一貫教育はその柱の一つとして「ふるさと科」の推進があります。これは復興・防災を基盤とした「生きる力」と「ふるさと創生」を推進することです。多大な被害を被った大槌町だけに真に迫ったテーマであり、発表を聞いていた私は心動かされました。

私たちの檜原学園について先月号で副校長から現在の状況についてお示しさせていただきました。次年度は第三期計画推進の2年目に入り、今年度定めた学園の教育目標「学びをつないで、持続可能な社会の創り手を育てる」及び学園訓「つなぐ つなげる つながる」のもと、全教職員が子供たちと共に教育活動に取り組んで参ります。檜原学園の小中一貫教育も大槌学園のそれに負けず劣らず一人一人の命を大切にし、檜原村の恵まれた環境を存分に生かした計画となっています。ふるさと檜原を守り育ていき、将来は世界を視野に入れて自己の人生をしっかりと歩むことができる自立した人材を育てるべく進んで参ります。この第三期計画を推進する上で言わば合い言葉のようなものが学園訓「つなぐ つなげる つながる」で、保護者や地域の皆様との協働も含んでいます。先述の大槌学園もやはり地域との協働を掲げて教育活動を進めています。地域あつての学園ということでは全く同じかと思われず。私は同じ学園として大槌学園とは切磋琢磨しながらそれぞれの地域を背負って立つ人材、ひいては日本、世界を視野に入れて活躍する人材を育てていきたいと考えています。皆さんもぜひこの学園訓「つなぐ つなげる つながる」を覚えていただき、様々な場面で子供たちに投げかけてください。そして一緒に新しい檜原学園をつくり上げていきましょう。

最後になりますが、保護者、地域の皆様には、この1年間ご理解とご協力をいただきましたこと深く御礼申し上げます。そしてまた4月からの檜原学園の教育活動への応援をどうぞよろしくお願いいたします。

## 3月の生活目標

### 1年間のしめくりをしっかりとしよう

令和3年度も残り一月となりました。今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で様々な制約がありましたが、子供たちは決められたルールの中、工夫して遊びを楽しむ姿が見られました。3月は1年間のまとめの月であると同時に、進級に向けた準備の月でもあります。次年度も感染症の影響を受けた厳しい状況が想定されます。しかし、「コロナ禍だからできない」ではなく、「コロナ禍の中だからこそ、工夫と新しいアイデアを生み出せる」と前向きに考え、次年度への準備を進めたいと思います。ご家庭におかれましても、子供たちへの励ましの声掛けをよろしくお願いいたします。

生活指導部 新藤 智美

## 歯科指導について

本校では、歯科指導に力を入れ、年間2回「ひのはらっこ歯っぴー手帳」を使用し、歯科衛生士の方から歯科指導を行っています。また、給食後の歯磨きを行っています。

さらに、保健委員会では、「歯・口の健康に関する図画ポスター」コンクールに応募しました。

先日、このコンクールの結果が届き、校長先生から表彰されました。

引き続き、子供たちが歯を大切にするように指導を進めていきます。

家庭でも歯磨きへのご協力をよろしくお願いいたします。



養護担当 新藤 智美



## 授業参観・保護者会



1. 日時 3月1日(火) 4・5・6年生  
3月3日(木) 1・2・3年生  
学級懇談会 14時40分から
2. 場所 各教室
3. 懇談会内容  
(1) 3学期・一年を振り返って  
(2) 学年の通知票(あゆみ)について  
(3) 春休みの生活と学習  
(4) その他(次年度の役員決めなど)
4. 安全対策の徹底について(再度のお願い)
  - ・来校される保護者の皆様及びご家族の方の体温の測定及び健康チェックをしていただき、発熱及び体調不良時には来校を見合わせてください。
  - ・来校時にマスクを着用してください。
  - ・いわゆるソーシャルディスタンスを保持すると共に、保護者間での三密状態にご留意ください。
  - ・新型コロナウイルス感染症対策のため、授業参観を中止させていただき、懇談会も短時間で実施させていただきます。

## ふるさと檜原学習

3年生は、1月18日につるかご作り、1月21日にニジマス飼育体験を行いました。つるかご作りでは、3名の講師の方を招き、地域の方に提供していただいたつるを使ってつるかごを熱心を作る姿が見られました。ニジマス飼育体験では、秋川漁業協同組合等の皆様から、ニジマスの飼育方法を教わり、卵のふ化に挑戦しました。これらの体験を重視したふるさと檜原学習を通して、檜原村への愛着をさらに高めてほしいと思います。



3年担任 山田 剛史

## 研究の取組

「算数科における確かな学力を育成する指導の工夫」  
～自ら考え、表現する活動を通して～

今年度、檜原小学校では、算数科において自分の考えを適切に表現し伝え合う活動を通して、学びを深め、確かな学力を育成することができるよう研究を進めてきました。

今年度の研究授業では、子供たちが「なぜ?」「どうして?」と、考えたいような問題を提示したり、自分の考えを適切に表現できるように意図的な対話を取り入れたりしながら、思考力・判断力・表現力等を伸ばしていけるように工夫してきました。来年度も子供たちの力が伸ばせるように進めていきたいと思っています。



研究部 工藤 由里子

## 卒業式の予定について

- 日時 令和4年3月24日(木)  
午前8時45分 卒業生保護者受付開始  
午前9時15分 開式

※ 全校児童が参加して6年生の卒業をお祝いします。  
1～5年生は通常登校です。尚、給食はありません。

## 妊娠・出産のお知らせ

本校の算数少人数担当の藤澤教諭が妊娠し、3月16日(水)から産休に入ります。今年度の残りの期間の算数につきましては、校内で体制をとり、進めてまいります。ご理解の程よろしくお願いいたします。尚、4月からは代替教諭が算数を行う予定です。